

グッド・プラクティス賞を受賞しました！

公益社団法人土木学会建設マネジメント委員会(以下「委員会」という)が行う表彰制度において、『中山間地域道路等維持補修業務委託モデル事業(奥会津モデル)』の取り組みが、平成 25 年度グッド・プラクティス賞を受賞しました。



▼グッド・プラクティス賞って何ですか？

委員会主催のシンポジウム等での発表の中から、建設マネジメント(建設事業の企画、施工、管理など各段階における監理)の実務において、創意工夫に富み建設マネジメントの発展に貢献が認められる意欲的な取り組みに授与される賞です。

▼そもそも、『中山間地域道路等維持補修業務委託モデル事業(奥会津モデル)』とは？

県が管理する道路や河川等の維持管理は、建設企業に委託し実施していますが、建設業を取り巻く環境は、作業員の高齢化や若手の就業離れ、建設機械の保有維持が困難など厳しい状況が続いています。

福島県宮下土木事務所管内は、地理的にほとんどが中山間地に位置し、道路は線形、勾配、幅員等の条件が厳しく、冬の寒さも厳しく降雪量は多いところで約10mにもなります。また、高齢化や過疎化が進んでおり、



山村振興、過疎、特別豪雪の特殊立法指定地域に指定されています。

建設業を取り巻く厳しい環境の中で、中山間地特有の課題を克服し、引き続き道路や河川等を良好な状態に保ち、防災活動を持続できる体制を確保し、地域住民の安全安心を確保するため、このモデル事業を始めました。

▼具体的な内容は？

これまで道路や河川等の維持管理は、「道路全般の維持管理」、「道路舗装の維持管理」、「河川や砂防施設の維持管理」、「道路除雪」など年に2回それぞれの項目で入札し、受注者を決め、維持管理業務を実施していました。

モデル事業では、複数ある項目を集約し、年間を通し、共同受注できる方式としました。これにより、仮に建設企業が倒産した場合でも柔軟に対応でき、住民の安全安心を継続して確保することができます。また、企業側としては、雇用の安定化が見込まれ、結果、地域貢献度の向上により相乗効果として就業意欲の向上にも繋がりました。発注側としても、事務の簡素化や監督業務の効率化が図られます。

平成21年度から平成24年度の4年間試行運用し、モデル事業の有効性について検討会(メンバーは、有識者や道路利用者等)で評価した結果、奥会津地域にとって最良な手法と判断されました。この結果を受け、平成25年度からは、年間契約から複数年契約とし、本格運用に移行しました。

▼インタビュー

受賞を受けて、モデル事業の発注者(宮下土木事務所)と受注者(宮下地区建設業協同組合)にインタビューをしました！

記者)受賞した感想をお聞かせください。

吉田)

今回の受賞は、いわゆる一括発注及び共同受注という新たな発注・契約方式が、「地域サービスの向上」とともに、管内と同様に過疎化が進む地域等での導入といった「発展性」が評価されものと認識している。



吉田所長(宮下土木事務所)

受賞者は、本システムを考案し実施した福島県となったが、本事業が安定的な軌道に乗るまでには、受注者である宮下地区建設業協同組合の関係者に相当の苦労があったことは想像に難くない。

組合員各位が、意識を「競争から助け合い」に変革し、地域の安全・安心という共通の目的のもと、高齢化による人材不足や急峻な地形により多発する災害、全国有数の豪雪地帯という有形、無形の障壁を乗り越え、共同受注の最大のメリットである機動性、補完性を発揮しながら、住民から「顔の見える町医者」として信頼を勝ち得ていることに、改めて感謝したい。

奥会津モデルの成功が、福島県ひいては全国の中山間地域共通に抱える課題解決の鍵となるのではと思っている。

受注者は、モデル事業を始めた頃から担当責任者として従事している、組合の鈴木業務部長にお話を伺いました。



鈴木業務部長

(宮下地区建設業協同組合)

記者)受賞した感想をお聞かせください。

鈴木)受賞できたことは素晴らしいことであるし、素直にうれしいです。今後なお一層、地域に貢献していきたい。

記者)モデル事業を実施して思うことはありますか？

鈴木)当初は、初めてのことばかりでどう対応していいかわからず手探りだった。複数の会社で構成されているため、各社で業務に取り組む意識や考え方も様々で苦労した。だが、今は発注者や各社と打合せを重ねていく中で、うまく運用できてきたし、各社の意識も変化が見られる。

これまでは、与えられた業務をこなしていたが、地域貢献に対する思いが強くなり自主的に維持管理における改善点等も発注者に提案できるまでに成長してきている。

蓄積した経験から、緊急時の初動体制も今では即座に確保できており、万全である。

記者)その他、何か伝えたいことはありますか？

鈴木)緊急時の対応を考えれば、24時間、365日休み無したが、大変やりがいを感じている。地域の安全安心のため、今後もがんばりたい。